

平成 26 年度口頭発表等一覧

[企画部]

- ◇第 43 回国土地理院報告会 平成 26 年 6 月 6 日 日経ホール (東京都千代田区)
 - ・新たな基本測量に関する長期計画と国土地理院研究開発基本計画：永山透
- ◇日本活断層学会 2014 年度秋季学術大会 2014 年 10 月 17 日～19 日 東北大学片平さくらホール (宮城県仙台市)
 - ・仙台で開かれる国連防災世界会議の意義と活断層研究の役割：宇根寛
- ◇平成 26 年度国土交通省国土技術研究会 2014 年 11 月 5 日～6 日 中央合同庁舎 2 号館 (東京都千代田区)
 - ・電子防災情報システムによる迅速な情報の集約と共有：栗栖悠貴
- ◇北淡国際活断層シンポジウム 2015 2015 年 1 月 12 日～14 日 兵庫県立淡路夢舞台国際会議場 (兵庫県淡路市)
 - ・Active Fault Mapping as the Fundamental Information of the Nation (国家基盤情報としての活断層図)：宇根寛

[測地部]

- ◇日本地球惑星科学連合 2014 年大会 平成 26 年 4 月 28～5 月 2 日 パシフィコ横浜 (神奈川県横浜市)
 - ・地理空間情報の平面位置正確度の評価：小清水寛・村上真幸 (国土地理院)
 - ・同一基線における GNSS 測量機及び測距儀による観測距離の比較：吉田茂・佐藤雄大 (測地観測センター)
 - ・日本のジオイド 2011 (GSIGEO2011) の構築：兒玉篤郎・宮原伐折羅・河和宏 (測地観測センター) ・黒石裕樹 (中部地方測量部)
 - ・日本重力基準網 2013 (JGSN2013) に準拠した日本国内の重力データの作成：宮崎隆幸・吉田賢司・宮原伐折羅
 - ・日本重力基準網 2013 (JGSN2013)：吉田賢司
 - ・富士山全磁力連続観測データの解析手法の開発：阿部聡・宮原伐折羅・森下一 (地理地殻活動研究センター) ・小林勝博 (東北地方測量部) ・豊福隆史・小山崇夫 (東京大学地震研究所) ・小河勉 (東京大学地震研究所)
 - ・広域 SAR 干渉解析のための GNSS 補正：森下遊
- ◇川口則幸教授退任記念ワークショップ「VLBI とその展望」 平成 26 年 6 月 2 日 国立天文台三鷹 (東京都三鷹市)
 - ・国土地理院の測地 VLBI の歴史と今後の観測計画：福崎順一
- ◇第 13 回 I V S 技術開発センターシンポジウム 平成 26 年 6 月 4 日 情報通信研究機構鹿島宇宙技術センター (茨城県鹿島市)
 - ・石岡 VGOS アンテナの受信性能：福崎順洋・和田弘人・黒田次郎・栗原忍・川畑亮二・若杉貴浩
 - ・広帯域記録装置を用いた定常的測地 VLBI 観測の実施：若杉貴浩・川畑亮二
- ◇第 43 回国土地理院報告会 平成 26 年 6 月 6 日 日経ホール (東京都千代田区)
 - ・電子基準点及び三角点の標高成果改定：田中博幸
- ◇KaVA Joint Science WG Meeting (日韓 VLBI 合同科学会議) 平成 26 年 7 月 7～9 日 山口大学 (山口

県山口市)

- Realization of the Geodetic Analysis of the VLBI Network in Korea (韓国の VLBI 網による測地解析の実現) : 福崎 順一
- ◇International Symposium on Geodesy for Earthquake and Natural Hazards (地震と自然災害における測地学国際シンポジウム) 平成 26 年 7 月 22~26 日 ホテル松島大観荘 (宮城県松島町)
 - Achievements of GSI's InSAR Project and Future (国土地理院のこれまでの干渉 SAR の成果と今後) : 森下 遊・小林知勝 (地理地殻活動研究センター)・飛田幹男 (地理地殻活動研究センター)
 - Revision of Control Point Survey Results After the 2011 off the Pacific Coast of Tohoku Earthquake (平成23年(2011年)東北地方太平洋沖地震に伴う基準点測量成果の改定) : 小門研亮
- ◇Asia Oceania Geoscience Society (AOGS) 2014 平成 26 年 7 月 28~8 月 1 日 ロイトン札幌 (北海道札幌市中央区)
 - Development of analysis strategy for continuous total geomagnetic field data around Mt. Fuji (富士山全磁力連続観測データの解析手法の開発) : 阿部聡・宮原伐折羅・小山崇夫 (東京大学地震研究所)・小河勉 (東京大学地震研究所)
- ◇2014 年度 VLBI 懇談会シンポジウム 平成 26 年 10 月 29~31 日 国土地理院 (茨城県つくば市)
 - 「VGOS」対応アンテナの建設 (その 3) : 福崎順洋・和田弘人・黒田次郎・栗原忍・川畑亮二・若杉貴浩
 - 国土地理院の VLBI 機関報告 : 川畑亮二・和田弘人・黒田次郎・福崎順洋・栗原忍・若杉貴浩
- ◇日本測地学会第122回講演会 平成26年11月5~7日 つくばサイエンス・インフォメーションセンター (茨城県つくば市)
 - セミ・ダイナミック測地系における地殻変動補正パラメータの精度検証 ~精密単独測位結果に対する効果の検証~ : 小門研亮・豊福隆史・山下達也
 - 新しいジオイド・モデル「日本のジオイド 2011」の構築 : 小島秀基・兒玉篤郎・宮原伐折羅・黒石裕樹 (中部地方測量部)
 - 日本重力基準網 2013 (JGSN2013) の構築 : 宮崎隆幸・吉田賢司・宮原伐折羅
 - VGOS 観測局の整備 (その 3) : 福崎順洋・和田弘人・黒田次郎・栗原忍・川畑亮二・若杉貴浩
 - PSI の精度検証 ~L バンドと C バンド~ : 森下遊・小林知勝 (地理地殻活動研究センター)
 - ALOS による全国 SAR 干渉解析の実証実験 : 山田 晋也・森下遊
 - 国土地理院の干渉 SAR 事業の歴史と展望 : 森下遊・山田晋也・小林知勝 (地理地殻活動研究センター)・矢来博司 (地理地殻活動研究センター) 宗包浩志 (地理地殻活動研究センター)・石本正芳 (地理地殻活動研究センター) 飛田幹男 (地理地殻活動研究センター)
- ◇3rd International VLBI Technology Workshop (第3回国際 VLBI 技術ワークショップ) 平成 26 年 11 月 10~13 日 NH hotel (オランダ・フローニンゲン)
 - New receiving system for VGOS Station in Japan (日本の VGOS 観測局のための新受信装置) : 福崎順洋・和田弘人・黒田次郎・栗原忍・川畑亮二・若杉貴浩
- ◇地殻電気伝導度不均質構造に関する研究集会 平成 27 年 1 月 8~9 日 京都大学理学研究科セミナーハウス (京都府京都市)
 - 主成分分析を用いた地磁気全磁力モデルの開発 : 阿部聡・宮原伐折羅・小山崇夫 (東京大学地震研究所)・小河勉 (東京大学地震研究所)
- ◇日本天文学会 2015 年春季年会 平成 27 年 3 月 18~21 日 大阪大学 (大阪府豊中市)

- ・広帯域受信電波望遠鏡（パラボラアンテナ）の開発（3）：福崎順洋

[地理空間情報部]

- ◇第43回国土地理院報告会 平成26年6月6日 日経ホール（東京都千代田区）
 - ・「地理院地図の公開」：伊藤裕之
- ◇3D コンソーシアム 平成26年6月19日 LEN貸会議室 飯田橋・会議室D（東京都新宿区）
 - ・「地理院地図3Dサービスの提供開始とその狙い、今後の展望」について：高桑紀之・岡安里津
- ◇日本地図学会平成26年度定期大会 平成26年8月6日～8月8日 東北大学 片平キャンパス（宮城県仙台市）
 - ・「地理院地図3D」の構築：大木章一・岡安里津
- ◇The International Symposium on Cartography in Internet and Ubiquitous Environments 2015（インターネットとユビキタス環境における地図作成に関する国際シンポジウム）平成27年3月17～19日 東京大学 本郷キャンパス（東京都文京区）
 - ・Tile-based web mapping for the era of open data（オープンデータ時代のタイル方式のウェブ地図）：藤村英範・伊藤裕之・小島脩平・神田洋史

[基本図情報部]

- ◇第43回国土地理院報告会 平成26年6月6日 日経ホール（東京都千代田区）
 - ・基盤地図情報・電子国土基本図の整備・更新・提供の方向性：飯田洋
 - ・西之島噴火に伴う空中写真撮影及び地形計測：大野裕幸
- ◇第11回南極設営シンポジウム 平成26年6月10日 国立極地研究所（東京都立川市）
 - ・地上型レーザスキャナによる地理空間情報の取得：吉高神充
- ◇平成26年度日本地図学会定期大会 平成26年8月6～8日 東北大学片平キャンパス片平さくらホール（宮城県仙台市）
 - ・「正距図法」の定義と正積・正角等の性質との関係について：政春尋志
 - ・国土広域情報の整備及び電子地形図20万の試作：吉松直貴・波多江萌・野口真弓
- ◇平成26年度国土交通省国土技術研究会 平成26年11月5～6日 国土交通省（中央合同庁舎2号館）
 - ・測量用航空機から斜め写真を用いた迅速な被災情報提供の取り組み：久保領一
- ◇CSIS Days 2014 全国共同利用研究発表大会 平成26年11月21～22日 東京大学柏の葉キャンパス駅前サテライト（千葉県柏市）
 - ・災害状況把握のための斜め空撮写真からのオルソ画像作成：政春尋志
- ◇先進光学衛星利用ワークショップ 平成27年2月18日 東京大手町カンファレンスセンター（東京都千代田区）
 - ・将来の地図更新における先進光学衛星への期待：大野裕幸

[応用地理部]

- ◇日本地球惑星科学連合2014年大会 平成26年4月28日～5月2日 パシフィコ横浜（神奈川県横浜市西区）
 - ・地球地図データの新しい形式表現での提供（ポスター発表）：安藤暁史・鶴生川太郎・齋藤俊信・山田晃子・植田摩耶・須賀正樹・山崎都子

- ◇第43回国土地理院報告会 平成26年6月6日 日経ホール(東京都千代田区)
 - ・地域防災のための地理空間情報活用の取組―避難所等情報を例に―: 登坂昇
- ◇FOSS4G 2014 Tokyo Day2 平成26年11月2日 東京大学駒場第二キャンパス(東京都目黒区)
 - ・地球地図のご紹介: 鶴生川太郎・須賀正樹
- ◇北淡国際活断層シンポジウム2015 平成27年1月12日~17日 兵庫県立淡路夢舞台国際会議場(兵庫県淡路市)
 - ・Detailed active fault maps of Awaji Island published in 2014 from GSI (ポスター発表): 岡田篤正(京都大学名誉教授)・国土地理院 活断層調査グループ
- ◇2014年度 東海大学情報技術センター研究・開発報告会 平成27年2月21日 東海大学代々木校舎(東京都渋谷区)
 - ・Landsat データ等を利用した国土環境モニタリング: 安藤暁史・鶴生川太郎・河本久美子・小西博美

[測地観測センター]

- ◇第8回 QZSS ユーザーミーティング 平成26年4月25日 東京海洋大学品川キャンパス(東京都港区)
 - ・国土地理院における準天頂衛星のGPS 補完信号利用に関する取り組み: 古屋智秋
- ◇日本地球惑星科学連合2014年大会 平成26年4月28~5月2日 パシフィコ横浜(神奈川県横浜市)
 - ・マルチGNSSによる高精度測位技術の開発―統合解析の実現に向けて―: 古屋智秋・酒井和紀(文部科学省)・万所求・辻宏道・山口和典・宮川康平・矢萩智裕(内閣官房)・畑中雄樹(地理地殻活動研究センター)・宗包浩志(地理地殻活動研究センター)・川元智司(地理地殻活動研究センター)
 - ・GEONET リアルタイム解析システム(REGARD)の全国対応 Enhancement of GEONET Real-time analysis System for Covering over Japan: 村松弘規・矢萩智裕(国土交通省)・宮川康平・川元智司(地理地殻活動研究センター)・大島健一・山口和典・太田雄策(東北大学)・出町知嗣(東北大学)・三浦哲(東北大学)・日野亮太(東北大学)・齋田優一(日立造船株式会社)・道家友紀(日立造船株式会社)
- ◇第43回国土地理院報告会 平成26年6月6日 日経ホール(東京都千代田区)
 - ・GEONET マルチGNSS時代の夜明け―未来予想図―: 佐藤雄大
- ◇GENAH2014(地震・自然災害のための測地学にかする国際シンポジウム) 平成26年7月22日~7月26日 ホテル大観荘(宮城県宮城郡松島町)
 - ・Impact of the 2011 Tohoku Earthquake of the nationwide GNSS array in Japan (GEONET) 2011年東北地方太平洋沖地震のGNSS連続観測網(GEONET)への影響: 辻宏道・古屋智秋・宮川康平・佐藤雄大・畑中雄樹(地理地殻活動研究センター)・宗包浩志(地理地殻活動研究センター)
 - ・Launch of a new GEONET real-time analysis system (REGARD) for rapid Mw estimates in Japan 地震規模即時推定のための新たなGEONETリアルタイム解析システム(REGARD)の構築: 佐藤雄大・矢萩智裕(国土交通省)・宮川康平・川元智司(地理地殻活動研究センター)・西村卓也(京都大学)・太田雄策(東北大学)・出町知嗣(東北大学)・日野亮太(東北大学)・三浦哲(東北大学)・齋田優一(日立造船株式会社)・道家友紀(日立造船株式会社)
- ◇6th Asia Oceania Regional Workshop on GNSS (第6回アジアオセアニアGNSS地域ワークショップ) 平成26年10月9~11日 The Royal Paradise Hotel & Spa(タイ・プーケット)
 - ・Introduction to GSILIB (GSILIB 概論): 古屋智秋
- ◇第11回リアルタイム測位利用技術講習会 平成26年10月29日 測量年金会館(東京都新宿区)
 - ・高度な国土管理のための複数の衛星測位システム(マルチGNSS)による高精度測位技術の開発について

て：古屋智秋

- ◇第19回 GPS/GNSS シンポジウム 2014 平成26年10月28～30日 東京海洋大学越中島キャンパス(東京都江東区)
 - ・マルチ GNSS による高精度測位技術の開発—衛星系を組み合わせる技術—：鎌苅裕紀・古屋智秋・万所求・辻宏道・田中和之・宮川康平・佐藤雄大・畑中雄樹(地理地殻活動研究センター)・宗包浩志(地理地殻活動研究センター)・川元智司(地理地殻活動研究センター)
- ◇日本測地学会第122回講演会 平成26年11月5～7日 つくばサイエンス・インフォメーションセンター(茨城県つくば市)
 - ・マルチ GNSS による高精度測位技術の開発—ISB 補正の効果—：鎌苅裕紀・古屋智秋・酒井和紀(文部科学省)・万所求・辻宏道・田中和之・宮川康平・佐藤雄大・畑中雄樹(地理地殻活動研究センター)・宗包浩志(地理地殻活動研究センター)・川元智司(地理地殻活動研究センター)
 - ・2011年東北地方太平洋沖地震の GEONET への影響—F3 解と IGS 解のわずかな乖離—：辻宏道・鎌苅裕紀・古屋智秋・万所求・佐藤雄大・宗包浩志(地理地殻活動研究センター)・畑中雄樹(地理地殻活動研究センター)
- ◇第58回宇宙科学技術連合講演会 平成26年11月12～14日 長崎ブリックホール(長崎県長崎市)
 - ・準天頂衛星の測量利用に向けた取り組み—L5 帯の利用—：古屋智秋・酒井和紀(文部科学省)・万所求・鎌苅裕紀・辻宏道・宮川康平・佐藤雄大・畑中雄樹(地理地殻活動研究センター)・宗包浩志(地理地殻活動研究センター)・川元智司(地理地殻活動研究センター)
- ◇第5回極域科学シンポジウム 平成26年12月2～5日 国立極地研究所(東京都立川市)
 - ・南極昭和基地 GNSS 観測点のマルチ GNSS 対応：万所求・植田勲(測地部)・古屋智秋・鎌苅裕紀・酒井和紀(文部科学省)・辻宏道

[地理地殻活動研究センター]

- ◇だいち2号(ALOS-2)に関する記者説明会 平成26年4月21日 東京 & Web(<http://fanfun.jaxa.jp/jaxatv/detail/2229.html>)
 - ・だいち2号による地形変化・地殻変動の監視について：飛田幹男
- ◇日本地球惑星科学連合2014年大会 平成26年4月28日～5月2日 パシフィコ横浜(神奈川県横浜市)
 - ・干渉 SAR の電離層補正に向けた、GPS-TEC による日本周辺の電離層擾乱の特性把握：中川弘之・宗包浩志・黒石裕樹・神原雅史(パスカリア)
 - ・2014年房総半島沖のスロースリップ：小沢慎三郎
 - ・利根川旧河道の地下比抵抗分布と地表の土壌水分率との関係：中埜貴元・小荒井衛
 - ・地すべり性斜面変動の前兆を干渉 SAR と航空レーザ測量で捉える：小荒井衛・中埜貴元・戸田堅一郎(長野県林業センター)・大丸裕武(森林総合研究所)
 - ・ジオパークの地図：小荒井衛・目代邦康(自然保護助成基金)
 - ・地理空間情報から地域の災害特性とそれに対応した被災情報収集を考える：小荒井衛
 - ・2013年10月15日フィリピン・ボホール島の地震に伴う地殻変動：小林知勝・飛田幹男
- ◇日本写真測量学会平成26年度年次学術講演会 平成26年5月1日～平成26年5月1日 東京大学生産技術研究所(東京都目黒区)
 - ・2013年西之島噴火の海岸線の初期変化：神谷泉
- ◇第43回国土地理院報告会 平成26年6月6日 日経ホール(東京都千代田区)

- ・地殻変動観測から地下の現象をどこまで把握できるのか：水藤尚
- ◇XXV FIG International Congress (第25回FIG国際会議) 平成26年6月16日～平成26年6月21日 クアラルンプールコンベンションセンター (マレーシア・クアラルンプール)
- ・GEONET・Japan's nationwide CORS network and its applications (日本のGNSS連続観測網GEONETとその活用)：黒石裕樹・今給黎哲郎(測地観測センター)・坂部真一(企画部)・宮原伐折羅(測地部)
- ◇International Symposium on Geodesy for Earthquake and Natural Hazards (GENAH) 2014 (地震と自然災害のための測地学国際シンポジウム) 平成26年7月22日～平成26年7月26日 ホテル大観荘(宮城県松島町)
- ・The Very-Long-Period Seismic Signals at Miyake-Jima Volcano during the Caldera Formation Revisited: Insights from GPS Observations：宗包浩志・及川純(東京大学地震研究所)・小林知勝
- ・Development and Reliability of Real-Time Fault Model Estimation Routines in the GEONET Real-Time Processing System：川元智司・宮川康平(測地観測センター)・矢萩智裕(内閣官房)・等々力賢(東京大学)・西村卓也(京都大学)・太田雄策(東北大学)・日野亮太(東北大学)・三浦哲(東北大学)
- ◇高解像度地形情報シンポジウム 平成26年8月8日 東京大学柏の葉キャンパス駅前サテライト(千葉県柏市)
- ・写真測量による地形計測：神谷泉
- ◇2nd International Symposium on Applied Computing & Information Technology (第2回応用コンピューティングと情報科学の国際シンポジウム) 平成26年8月31日～平成26年9月4日 北九州国際会議場(福岡県北九州市)
- ・Spatial Distribution Characteristic of Archaeological Ruins with Land Liquefaction Vestiges Analyzed by GIS (GIS解析による歴史時代の液状化痕跡の空間分布特性―新潟県の事例―)：中埜貴元・酒井英男(富山大学)・加藤学(新潟県埋蔵文化財調査事業団)
- ◇2014年日本地理学会秋季学術大会 平成26年9月20日～平成26年9月21日 富山大学(富山県富山市)
- ・地中レーダ(GPR)探査による鬼怒川旧河道の浅部地下構造調査：中埜貴元・小荒井衛(国土交通大学校)・須貝俊彦(東京大学)
- ◇日本地形学連合秋季大会 平成26年10月11日～平成26年10月12日 奈良大学(奈良県奈良市)
- ・海陸一体の地形分類とその周辺～西南日本外帯を対象として～：岩橋純子・福岡浩(新潟大学)・松四雄騎(京都大学)
- ◇10th Joint Meeting of UJNR Panel on Earthquake Research 平成26年10月14日～平成26年10月16日 ホテルモンテレ仙台(宮城県仙台市)
- ・3-D viscoelastic FEM modeling of postseismic deformation caused by the 2011 Tohoku earthquake (三次元有限要素法による2011年東北地方太平洋沖地震の余効変動モデリング)：水藤尚
- ・Shortening of recurrence interval of Boso slow slip events in Japan (房総スロースリップの発生間隔の短縮化)：小沢慎三郎
- ◇日本火山学会2014年度秋季大会 平成26年11月2日～平成26年11月4日 福岡大学七隈キャンパス 18号館2階講義室および中央図書館多目的ホール(福岡県福岡市)
- ・三宅島2000年噴火のカルデラ形成期に観測された50秒パルスの力源の再検討―キネマティックGPS解析から分かったこと―：宗包浩志・及川純(地震研究所)・小林知勝
- ◇平成26年度国土交通省国土技術研究会 平成26年11月5日～平成26年11月6日 国土交通省(東京都千代田区)

- ・無人航空機 (UAV) による西之島の空中写真撮影と高精度地形計測：中埜貴元・飛田幹男・神谷泉
 - ・GNSSリアルタイム解析による地震規模の即時推定：川元智司
- ◇日本測地学会第122回講演会 平成26年11月5日～平成26年11月7日 つくばサイエンス・インフォメーションセンター (茨城県つくば市)
- ・三宅島2000年噴火のカルデラ形成期に観測された50秒パルスの力源の再検討—キネマティックGPS解析から分かったこと—：宗包浩志・及川純 (地震研究所) ・小林知勝
 - ・降雪がGEONET測位解に及ぼす影響について：今給黎哲郎・宗包浩志・佐藤雄大 (測地観測センター)
 - ・GEONETデータを用いた「だいち」 SAR干渉画像の電離層補正手法の開発 (その2)：石本正芳・宗包浩志
 - ・2011年東北地方太平洋沖地震の粘弾性緩和による変動の見積もり：水藤尚
 - ・東北沖地震余効変動時系列分析による余効滑りと粘弾性緩和の分離の試み：飛田幹男・赤司貴則 (測地観測センター) ・宗包浩志・水藤尚・川元智司・畑中雄樹・矢来博司
- ◇日本写真測量学会平成26年度秋季学術講演会 平成26年11月20日～平成26年11月21日 サポートホール高松 (香川県高松市)
- ・航空レーザ反射強度データと地表土壌水分率及び地形分類との関係：中埜貴元・神谷泉・小荒井衛 (国土交通大学校)
 - ・UAV による西之島の撮影と DEM、オルソモザイクの作成：神谷泉・飛田幹男・中埜貴元・岩橋純子・坂井尚登 (応用地理部) ・大角光司 (基本図情報部)
- ◇日本地震学会秋季大会 平成26年11月24日～平成26年11月26日 朱鷺メッセ：新潟コンベンションセンター (新潟県新潟市)
- ・時間依存のインバージョンで見た東海地方の非正常変動：小沢慎三郎・矢来博司
 - ・新潟—神戸ひずみ集中帯新潟県中部の詳細地殻変動分布とその成因に関する考察：水藤尚・小林知勝・川元智司
 - ・東北沖地震余効変動時系列分析による余効滑りと粘弾性緩和の分離の試み：飛田幹男・赤司貴則 (測地観測センター) ・宗包浩志・水藤尚・川元智司・畑中雄樹・矢来博司
- ◇INTERPRAEVENT International Symposium 2014 (インタープリイベント2014) 平成26年11月25日～平成26年11月28日 奈良県新公会堂 (奈良県奈良市)
- ・Landslide susceptibility analysis by terrain and vegetation attributes derived from pre-event LiDAR data: a case study of granitic mountain slopes in Hofu, Japan (災害前の LiDAR データから求めた地形・植生特性による斜面崩壊の起きやすさの分析：防府地区の花崗岩山地におけるケーススタディ)：岩橋純子
- ◇日本リモートセンシング学会国土防災リモートセンシング研究会ワークショップ 平成26年11月27日 東北工業大学八木山キャンパス (宮城県仙台市)
- ・リモートセンシングを活用した国土地理院の防災への取り組み：中島秀敏
- ◇第24回環境地質学シンポジウム 平成26年11月28日～平成26年11月29日 日本大学文理学部 (東京都世田谷区)
- ・液状化が発生した利根川・鬼怒川旧河道における物理探査：中埜貴元・小荒井衛 (国土交通大学校) ・須貝俊彦 (東京大学)
- ◇ISPRS TC VIII Mid-Term Symposium (国際写真測量・リモートセンシング学会第8部会中間シンポジウム) 平成26年12月9日～平成26年12月12日 The Park Hotel (インド・ハイデラバード)
- ・LANDFORM MONITORING IN ACTIVE VOLCANO BY UAV AND SfM-MVS TECHNIQUE (UAVと

- SfM-MVS技術を用いた火山の地形モニタリング) : 中埜貴元・神谷泉・飛田幹男・岩橋純子・中島秀敏
- ◇2014 AGU Fall Meeting (米国地球物理学連合2014年秋季大会) 平成26年12月15日～平成26年12月19日
モスコニコンベンションセンター (アメリカ・サンフランシスコ)
- Kinematic GPS analysis gives new insights on the origin of the very-long-period seismic signals at Miyake-jima volcano during the caldera formation (キネマティックGPS解析による三宅島2000年噴火時に観測された50秒パルス/傾斜ステップの力源の再検討) : 宗包浩志・小林知勝・及川純 (東京大学地震研究所)
 - How GNSS Earth Observation Network System (GEONET) in Japan Contributes to Geohazards Mitigation (GEONETの防災・減災への貢献) : 川元智司・宗包浩志・畑中雄樹・辻宏道 (測地観測センター) 宮川康平 (測地観測センター) ・古屋智秋 (測地観測センター) ・佐藤雄大 (測地観測センター)
- ◇Hokudan 2015 International Symposium on Active Faulting (北淡国際活断層シンポジウム2015) 平成27年1月12日～平成27年1月14日 兵庫県立淡路夢舞台国際会議場 (兵庫県淡路市)
- Crustal deformation derived from the northern Nagano prefecture earthquake detected by InSAR analysis using ALOS-2 data (ALOS-2のSAR干渉解析で捉えられた長野県北部の地震の地殻変動) : 矢来博司・小林知勝・飛田幹男・森下遊 (測地部) ・山田晋也 (測地部)
- ◇第6回 GIS-Landslide 研究集会および第2回高解像度地形情報シンポジウム 平成27年1月16日 東京大学柏の葉キャンパス駅前サテライト (千葉県柏市)
- 干渉SARによる地表変形箇所の把握ー地すべり性変動と地表地震断層を例にー : 中埜貴元・中島秀敏
- ◇日本地理学会2015年春季学術大会 平成27年3月28日～平成27年3月29日 日本大学文理学部 (東京都世田谷区)
- 2014年11月22日長野県北部の地震におけるSAR干渉画像に基づく地表変形現地調査結果 : 中埜貴元・飛田幹男・中島秀敏・神谷泉